

小さな工夫からコツコツと

紹介者 島本 卓

福祉用具と聞くと「高価」なイメージを持っています。自分が必要としているニーズにマッチしているかといえば「完璧」は少ないです。私は毎月1回、100均で代用できる商品があるか探しに行くようにしています。まずは「こんなことがしたい」と考えるところから始まり、「仕上がったイメージ」をしながら商品を探して作成します。オリジナルの発想と工夫が楽しみになります。まずは100均に行くべし！

(車椅子編)

最初の頃は膝ベルトで脚が開かないようにしていたのですが、年々私の脚（特に膝から下）が細くなってきたため、長時間ともなると両膝外側の骨の出っ張り部分にベルトが擦れて赤くなるようになったので、膝ベルトで縛ることをやめました。軟らかさと取り替えやすさにこだわりながら、食器洗いのスポンジから試した結果「車の洗車用スポンジ」にたどり着きました。弾力も抜群で、古くなれば掃除にも使える優れものです。

(シャワーキャリー編)

お風呂の際、皮膚への直接的圧迫と摩擦による赤み、傷を作ってしまったことがあります。肘部分、両膝外側の骨の出っ張り部分の保護をするために「棒状の浮き具」を使っています。ビート板の棒状タイプだと思ってください。シャワー浴のような時間であれば赤みなどもなく、負担軽減と傷の予防になります。

車椅子編 ①



車椅子編 ②



シャワーキャリー編 ①



シャワーキャリー編 ②

